



平成28年5月9日

各 位

上場会社名 矢作建設工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 高柳 充広  
 (コード番号:1870 東証1部・名証1部)  
 本社所在地 名古屋市東区葵三丁目19番7号  
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 川口 亮  
 TEL 052-935-2348

## IR資料 当社グループの経営現況について

## 平成28年3月期 連結決算

当社グループの平成28年3月期連結決算の概要と経営現況を以下の通りまとめましたので、ご参照下さい。

## I. 連結損益の状況について

## □ 連結経営成績

(単位:百万円)

	H28.3実績	H27.3実績	増減額	増減率	H29.3 通期予想
売上高	88,758	82,528	6,230	7.5%	90,000
完成工事高	71,092	68,183	2,908	4.3%	
兼業事業売上高	17,666	14,345	3,321	23.2%	
売上総利益	15,875	15,359	516	3.4%	
(売上総利益率)	(17.9%)	(18.6%)	(▲0.7pt)		
完成工事総利益	11,148	11,849	▲ 701	▲5.9%	
兼業事業総利益	4,727	3,509	1,217	34.7%	
販売費及び一般管理費	8,522	8,564	▲ 41	▲0.5%	
営業利益	7,353	6,795	558	8.2%	7,600
(営業利益率)	(8.3%)	(8.2%)	(0.1pt)		(8.4%)
経常利益	7,323	6,680	643	9.6%	7,600
(経常利益率)	(8.3%)	(8.1%)	(0.2pt)		(8.4%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,666	3,640	1,025	28.2%	5,000
(当期純利益率)	(5.3%)	(4.4%)	(0.9pt)		(5.6%)

## 【H28年3月期】

- 平成28年3月期（当期）は前期に比べ増収増益となり、営業利益、経常利益、当期純利益の各利益段階において、3期連続で過去最高益を更新いたしました。
- これは、建設事業において、耐震補強工事は減少したものの、一般建築工事・土木工事の大型物件の施工が順調に進捗したことに加え、兼業事業における自社開発の大規模宅地の売却などが寄与したことによるものです。

## 【H29年3月期通期予想】

- 平成29年3月期（来期）の売上高につきましては、建設事業は、耐震補強工事の減少を一般建築工事及び土木工事の増加により補い当期と同水準となる一方で、兼業事業において、分譲マンションの引渡戸数が増加することに加え、自社開発の大規模工業団地の販売等を予定していることから、当期実績を上回る見込みです。
- また、利益につきましても兼業事業における増益が寄与し、各利益段階ともに4期連続で過去最高益を更新する見込みです。

## II. 事業別の概況

- 当社グループは、安定的な経営基盤の構築に向け、2015年度を初年度とする「中期経営計画（2015～2017年度）」において「コア事業（建設）における強固なエンジニアリング基盤の確立」を事業方針に掲げ、計画最終年度となる2017年度の目標値を、売上高900億円程度、営業利益60億円程度、自己資本当期純利益率（ROE）8%以上としております。

### 1. 建設事業

- 当社グループは、コア事業である建設事業において、これまでの開発案件や設計・施工案件などで培ったノウハウを活かし、企画開発力と施工技術力をより一層強化することにより、持続性のある収益基盤の構築を図っております。
- また、事業領域の拡大と市場競争力の強化を目的に、収益性や生産性の向上に資する研究開発を進めるとともに、技術者、技能労働者不足を補う効率化、省力化の研究にも取り組んでまいります。

#### 1-1. 建築工事

##### □ 受注高及び売上高の状況

（単位：百万円）

	H28.3実績	H27.3実績	増減額	増減率
連結受注高	50,546	50,239	306	0.6%
一般建築工事	39,122	35,342	3,779	10.7%
耐震補強工事	11,424	14,897	▲ 3,473	▲ 23.3%
連結売上高	50,643	52,288	▲ 1,644	▲ 3.1%
一般建築工事	38,922	36,053	2,868	8.0%
耐震補強工事	11,721	16,234	▲ 4,512	▲ 27.8%

##### ① 一般建築工事

- 一般建築工事につきましては、大型案件への取り組みを強化したことが奏功し、物流施設を中心に受注高は前期実績を上回りました。
- 売上高につきましては、商業施設をはじめ大型案件の施工が順調に進捗したことにより、前期実績を上回りました。
- 今後も、大型案件への対応力強化による収益性・生産性の更なる向上に注力し、受注の拡大を図ってまいります。また、協力会社との連携を一層強化し、安定的な労務確保のみならず、安全・品質の向上に一体となって取り組んでまいります。

## ② 耐震補強工事

### □ ピタコラム事業の実績

(単位:百万円)

	H28.3実績	H27.3実績	増減額	増減率
連結受注高	11,075	14,289	▲ 3,214	▲22.5%
連結売上高	11,324	15,619	▲ 4,295	▲27.5%

- ▶ ピタコラム事業につきましては、公立小中学校の耐震化工事が一巡したことにより、受注高・売上高ともに前期実績を下回りました。
- ▶ 今後は、庁舎・官舎等の公共施設の耐震化工事の受注に注力するとともに、行政が耐震化を促進している緊急輸送路沿線のマンションやホテルなどの民間施設に対しても、これまで培った営業ネットワークやノウハウを活かし、受注活動を展開してまいります。

## 1-2. 土木工事

### □ 受注高及び売上高の状況

(単位:百万円)

	H28.3実績	H27.3実績	増減額	増減率
連結受注高	21,955	21,548	406	1.9%
連結売上高	20,448	15,895	4,552	28.6%

- ▶ 土木工事につきましては、前期に引き続き大型物件を受注したことにより、受注高は前期と同水準となり、売上高につきましては、期首手持の大型官庁工事や民間造成工事などの施工が順調に進捗したことから、前期実績を大幅に上回りました。
- ▶ 今後も、更なるコスト競争力の強化をベースに、官庁工事においては、技術提案型の大型案件への取り組みに一層注力するとともに、民間工事においては、当社がこれまでに培った企画提案力や設計力を活かして開発案件や新規顧客を開拓し、受注の拡大を図ってまいります。

## 2. 兼業事業

- ▶ 当社グループは、分譲マンション事業のみならず、工業団地や商業施設などの開発事業や不動産賃貸事業、更には仲介・販売代理業務などの流通事業に注力することにより、収益性の高いポートフォリオの構築を進め、兼業事業全体の持続的成長を図っております。
- ▶ 現在、名古屋市港区金城ふ頭で建設中の「レゴランド」の隣接地においては、平成29年春のオープンを目指し「モノやコトをつくる喜び」をコンセプトとした複合商業施設「Maker's Pier（メイカーズ・ピア）」の開発を当社グループで進めており、今後も街づくりを通じて地域の活性化に貢献してまいります。

### □ 売上高の状況

(単位:百万円)

	H28.3実績	H27.3実績	増減額	増減率
連結売上高	17,666	14,345	3,321	23.2%

- ▶ 兼業事業につきましては、分譲マンションの引渡戸数が若干減少したものの、自社開発の大規模宅地を売却したことにより、売上高は前期実績を上回りました。

## ① 分譲マンション事業

### □ 分譲マンションの実績

(当社持分)

販売戸数	H28.3実績	H27.3実績	増減
契約戸数	328戸	248戸	80戸
引渡戸数	257戸	268戸	▲11戸

- ▶ 分譲マンション事業につきましては、供給戸数が減少したことから当期の引渡戸数は前期実績を下回りましたが、来期引渡し予定の大型物件を中心に販売が好調に推移したことにより、契約戸数は前期実績を大幅に上回りました。
- ▶ 来期につきましては、これら物件が完成引渡しを迎えることから、引渡戸数は増加する見込みであります。
- ▶ 建設コストの高止まりや地価の上昇局面を迎えている中、当社グループは用地取得時のコスト管理を徹底することで、適正な販売価格を実現し、顧客満足度の向上と収益の確保の両立を図ってまいります。

### Ⅲ. 連結財政状態について

#### □ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		H28.3実績	H27.3実績	増減	負債の部		H28.3実績	H27.3実績	増減
流動資産	現金預金	11,934	16,160	▲ 4,225	流動負債	支払手形・工事未払金等	15,599	17,229	▲ 1,629
	売上債権	25,425	21,809	3,615		短期借入金	10,473	6,562	3,911
	未成工事支出金	4,623	4,386	237		1年内償還予定の社債	160	2,840	▲ 2,680
	販売用不動産	17,872	19,744	▲ 1,871		その他	7,928	8,023	▲ 95
	その他	1,291	1,486	▲ 194		合計	34,162	34,655	▲ 493
	合計	61,147	63,587	▲ 2,439	固定負債	社債	—	160	▲ 160
固定資産	有形固定資産	22,760	18,410	4,349		長期借入金	8,613	10,237	▲ 1,623
	無形固定資産	254	269	▲ 14		その他	9,873	8,120	1,753
	投資その他の資産	5,965	5,669	295		合計	18,487	18,517	▲ 29
合計	28,980	24,349	4,630	負債合計	52,649	53,172	▲ 523		
繰延資産	1	9	▲ 8	純資産	37,480	34,774	2,706		
資産合計	90,129	87,946	2,182						

#### □ 主要経営指標

	H28.3実績	H27.3実績	増減
総資産経常利益率(ROA)	8.2%	7.8%	0.4pt
自己資本当期純利益率(ROE)	12.9%	11.0%	1.9pt
1株当たり当期純利益(EPS)	107.51円	83.88円	23.63円
自己資本比率	41.6%	39.5%	2.1pt

- 当期は、一般建築工事及び土木工事において大型案件を中心に施工が進捗したことにより売上債権が約36億円増加し、また、本社ビルの取得などにより有形固定資産が約43億円増加した一方で、現金預金が約42億円減少したことなどから、総資産は前期末に比べ約21億円増加いたしました。
- 一方、純資産は当期純利益の計上などにより約27億円増加したことから、自己資本比率は41.6%、自己資本当期純利益率(ROE)は12.9%となり、いずれも過去最高を更新いたしました。

以 上